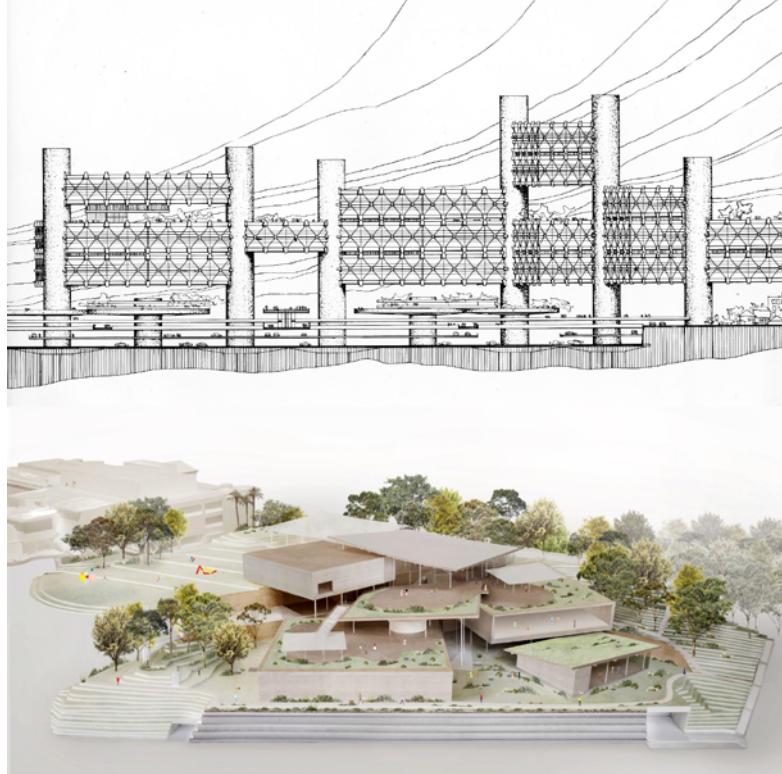


建築の系譜

「日本の空間と ミニマリズムへ メタボリズムから



11月27日（木）18:30～20:45
会場：天神ビル 11階 6号
福岡市中央区天神 2-12-1

図解を交えた講演で、磯崎新の先見的な「空中都市」から SANAA の洗練されたミニマリズムに至るまでの進化を辿りながら、近現代日本建築における空間の系譜を探求する。講演では、変化する文化的・概念的枠組みに導かれ、空間と形態の概念が世代を超えて建築家たちの間でどのように変化してきたかを探る。

- 内と外の関係性、ルイス・カーンが最初に提唱したサーブード・スペースとサーバント・スペースの多様な対比、そして陰陽のように互いを定義する「平行」空間という概念の探求
- 丹下健三の遺産と、いわゆる「ホワイト・スクール」が日本の建築に与えた影響についての考察
- 構造主義的な空間概念がミニマリズム的な建築表現へどのように進化したかについての考察



ボトンド・ボグナー
Botond Bognar

ハンガリー・ブダペストで生まれ。
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校
建築学科・名誉教授
ブダペスト工科大学・建築学士号
(1968年)、建築修士号(1972年)
カリフォルニア大学ロサンゼルス校
建築・都市計画修士号(1981年)

公開例会スケジュール

- 18:15 受付開始
18:30 例会開始・協力会セミナー
18:45 Botond Bognar 講演会
20:30 質疑応答
20:45 閉会

参加・CPD申込

| 参加無料 | 定員: 40名 | 申込締切 11/24 (月) |

例会参加希望者・CPD 単位取得希望の方は
Google Forms から申し込みください。
<https://forms.gle/aPsLQtp4aoJRPhya6>

